

令和6年度

全国学力・学習状況調査について 一宮市全体の状況

◆ 調査実施日

2024年4月18日（木）

◆ 調査実施者数

調 査 学 年	参 加 学 校 数	参 加 人 数
小学校6年生	42校	3,155人
中学校3年生	19校	3,090人

◆ 調査の内容

【教科に関する調査（国語、算数・数学）】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- （１）身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- （２）知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記（１）と（２）を一体的に問うこととする。

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

児童生徒に関する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件整備の状況等に関する調査

◆ 教科に関する調査の結果

【小学校6年生の状況】

国 語	全国平均正答率と同程度の状況です。
	・『話すこと・聞くこと』の内容において、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができること」に課題があります。 ・『書くこと』の内容においては、「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができること」に課題があります。
算 数	全国平均正答率と比べ、やや高い状況です。
	・『図形』の領域において、「球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができること」に課題があります。

【中学校3年生の状況】

国 語	全国平均正答率と比べ、やや高い状況です。
	・『話すこと・聞くこと』の内容において、「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができること」に課題があります。
数 学	全国平均正答率と比べ、高い状況です。
	・『数と式』、『データの活用』の領域において、全国平均正答率を大きく上回っています。 ・『関数』の領域において、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること」に課題があります。

◆ 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査）の結果

【小学校6年生の状況】

肯定的な回答が全国値に比較して多い項目	肯定的な回答が全国値に比較して少ない項目
・新聞を読んでいますか。 ・友達関係に満足していますか。 ・人が困っているときは、進んで助けていますか。	・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

【中学校3年生の状況】

肯定的な回答が全国値に比較して多い項目	肯定的な回答が全国値に比較して少ない項目
・朝食を毎日食べていますか。 ・新聞を読んでいますか。 ・人が困っているときは、進んで助けていますか。	・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

◆ 調査結果を受けての取り組み

教育委員会の取り組み	学校の取り組み例
・各学校に、全国学力・学習状況調査の結果を分析させ、自校の強みと弱みを把握させる。強みは生かし、弱みを克服するための対策を練らせる。 ・「報告書」「授業アイデア例」などを活用した授業改善の方法について研修する。 ・教師の指導力向上を図る専門委員会で、授業改善を目指した研修会を開催する。	・自校の課題解決に向けた研修の実施 ・基礎基本の定着、読むことを意識した授業づくり、読み取った（聞き取った）ことを基に、自分の考えをもたせる場の設定、自分の考えを生かし、深めるための言語活動の充実などの学習活動の工夫 ・授業の振り返りの充実 ・授業前後の小テストや校内漢字・計算コンクールの実施 など